

<プレスリリース>

(表題)

ミニシアター×オンラインシネマイイベント

「没後 20 年 作家主義 相米慎二～アジアが見た、その映像世界」開催決定

*** 情報解禁 1月 12 日(火)**

いつもお世話になっております。

映画監督・相米慎二の死去から 20 年。2021 年 2 月 6 日～19 日、ユーロスペースにて、ミニシアター×オンラインシネマイイベント「没後 20 年 作家主義 相米慎二～アジアが見た、その映像世界」が開催されます。

<イントロダクション>

2001 年 9 月 11 日、アメリカ同時多発テロが発生。その 2 日前、9 月 9 日、映画監督・相米慎二が逝った。あれから 20 年――。

その世界的な評価は遅れていると言われていたが、2012 年にナント映画祭(フランス)、エディンバラ映画祭(イギリス)、パリシネマテーク(フランス)、2015 年にはフランクフルト映画祭(ドイツ)などで、次々とレトロスペクティブが行われた。

2005 年、全州(キョンジュ)映画祭(韓国)で行われた回顧上映で衝撃が流れた。そして、2021 年、アジアでの再評価の波が来る。韓国映画「はちどり」は、本国はもちろん日本でも異例のヒットを記録。数年前には、台湾のエドワード・ヤン「牯嶺街(クーリンチェ)少年殺人事件」のリバイバルが大成功を収めた。デジタルの時代、コロナ禍の時代、新たな映画の方法が求められている。アジア映画がもつ、荒々しさ、凶暴性。それを考えたとき、作家・相米慎二という名前が浮かぶ。アジアの作家、評論家がいま、相米慎二を改めて発見しようとしている。今回の特集上映は作家・相米慎二とアジアを結ぶ端緒となる試み。

期間中には、台湾のホアン・シー監督などアジアの監督らとのオンライントークを実施。もちろん、俳優の佐藤浩市、永瀬正敏をはじめ、相米映画を知る日本の関係者のオンライントークも予定している。

いま、日本に相米慎二のような作家は存在しているのだろうか。その、荒々しさ。その、深さ。その、美しさ。その、真実。

「作家主義 相米慎二」

80年代を生きた癡猛さ。アイドル映画という枠組みを超え、その過剰なまでの演出を突き詰めた。90年代を生きた繊細さ。ミュージカル的な世界観の導入。自己の集大成と、新たなる変化への挑戦。そして、2001年(21世紀)に結果として残した、たった一本の別れの挨拶。

デビュー作「翔んだカップル」から遺作「風花」までの全監督作品 13 作。さらに共同プロデュースを務めた「空がこんなに青いわけがない」を上映。

いま、作家・相米慎二が、ここにいる。

<企画概要>

ミニシアターxオンラインシネマイイベント

「没後 20 年 作家主義 相米慎二 ～アジアが見た、その映像世界」

企画・主催 A PEOPLE CINEMA

会場・運営 ユーロスペース

特別協力:ムスタッシュ 中央映画貿易

文化庁委託事業「文化芸術収益力強化事業」

<上映作品>

全監督 13 作品+1 本（共同プロデュース作品）完全上映

翔んだカップル（1980年）

セーラー服と機関銃（1981年）

シヨンベン・ライダー（1983年）

魚影の群れ（1983年）

ラブホテル（1985年）

台風クラブ（1985年）

雪の断章 一情熱一（1985年）

光る女（1987年）

東京上空いらっしゃいませ（1990年）

お引越し (1993年)

夏の庭 The Friends (1994年)

あ、春 (1998年)

風花 (2001年)

空がこんなに青いわけがない (1993年) 共同プロデュース作品

「没後20年 作家主義 相米慎二」

2021年2月6日(土)～2月19日(金)

渋谷 ユーロスペース

※作品ごとの上映スケジュール、イベントの詳細、そして、前売券、回数券の発売情報は、公式サイト(ホームページ)にて随時、発表していきます。

※コロナ禍など社会状況により、やむを得ず番組編成が中止、変更になる場合があります。予めご理解いただきますようお願い申し上げます。A PEOPLE CINEMA

「没後20年 作家主義 相米慎二」公式サイト

<https://apeople.world/sohmaishinji/>

「没後20年 作家主義 相米慎二」予告編

https://youtu.be/j5_Isdxeu8k

「没後20年 作家主義 相米慎二」写真キット

<https://apeople.world/sohmaishinji/presskit/>

////////////////////////////////////

<お問い合わせ先>

宣伝：A PEOPLE 小林千寿(こばやしちひろ)

ap_cinema@apeople.jp

////////////////////////////////////